

平成17年度の行財政改革の成果をお知らせします

行財政改革プラン推進期間の初年度を終えて

平成17年度決算からみた行財政改革の成果としましては、数年来の貯蓄の取崩しによる財源補填を行い財政運営を行ってきた赤字財政から、1年間の収入で1年間の全ての支出を賄うことができる黒字財政への転換を図ることができました。

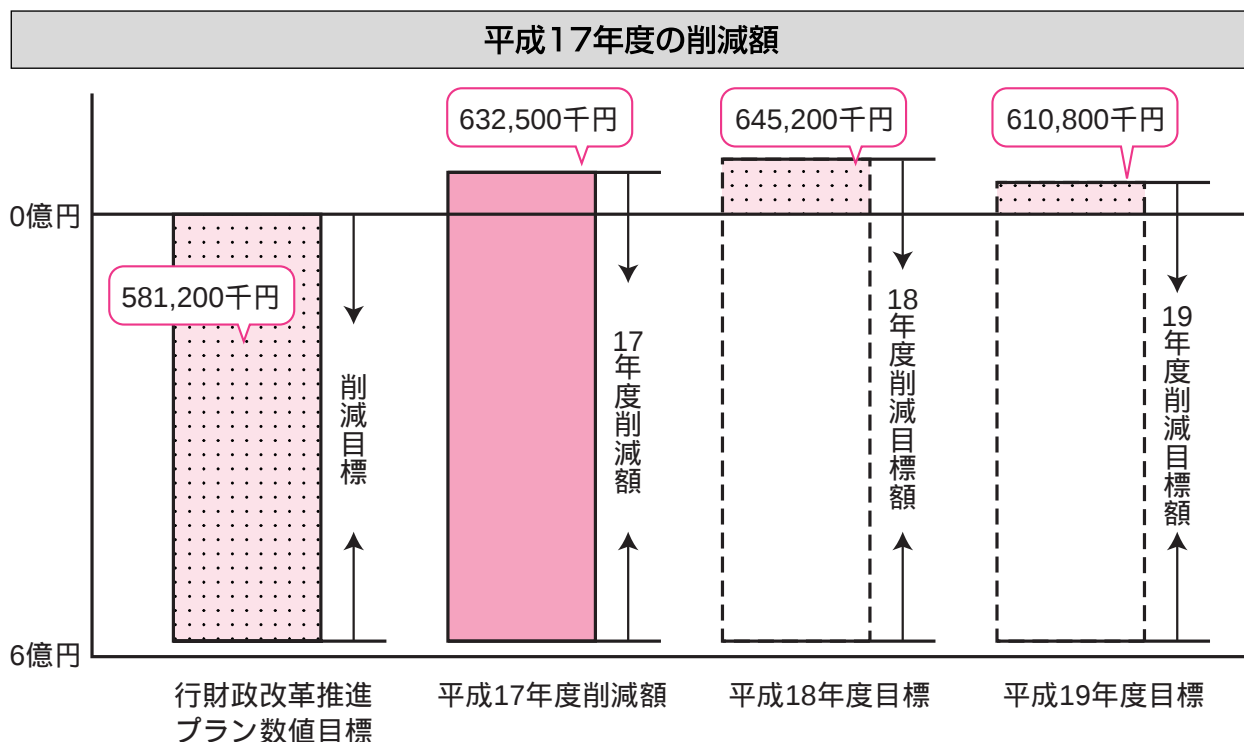
このことから、行財政改革推進プランの目的とする、身の丈にあった行財政運営ができる体制を構築するためには、順調な滑り出しができたと考えております。

しかし、笠松町を取り巻く環境は、依然として厳しいものであることには違いなく、さらなる行財政改革を進め、住民協働による事業展開を積極的に行い、この笠松町が小さい町でありながら、きらりと光るまちづくりを目指していくところであります。

笠松町長 広江正明

平成17年度の削減額は6億3,250万円

行財政改革推進プランでは平成16年度当初予算の財源不足額581,200千円を3年間で解消することを目標に実施しています。初年度の平成17年度では、632,500千円の削減を実施しました。



● 新たに始めた事業 ●

延長保育の実施

- ・従来1保育所で実施していた延長保育所を3保育所へ拡大実施

児童生活習慣病予防対策事業の見直し

- ・小学5年生で希望する児童に対し、生活習慣病予防のための血液検査を無料実施

家具転倒防止補助器具取付事業の実施

- ・高齢者、重度身体障害世帯への地震から生じる家具転倒防止のための補助器具の取り付け

緊急時情報伝達システムの実施

- ・災害情報、緊急情報などを携帯電話などへメール送信するあんしんがさまつメールシステムの導入